

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 ビジョン委員会 連盟
<p>21世紀における協会のさらなる発展をめざし、どのような活動に取り組むべきか、長期的展望にたち検討を重ねていくために、2001年4月「ビジョン委員会」が発足した。</p> <p>発足当時各委員会、連盟からの代表により構成されていたが、規模が大きすぎて頻りに集まらないということから、各委員会、連盟すべてからだすのではなく、人数を絞って構成している。</p> <p>発足当時の審議事項として、2009年2巡目新潟国体に向けた、準備・強化資金について登録料に国体協力金徴収することになり、その準備・強化資金活用し、成年男子優勝、女子準優勝、総合優勝を勝ち得た。</p> <p>現在は「2007年宣言特別協力金」として2007宣言を達成するための予算として登録者に協力をお願いし活動を行っている。</p> <p>また、2006年度、新潟県サッカー協会機構改革にて、4つの地区協会（新潟、上越、中越、下越）がスタートした。13年経つ現在では、徐々に整備、独自に活動をしていく地区もでてきたが、活動状況には、各地区ひらきがあるのも現状である。各地区協会の整備にあたっては、それぞれに独立した協会としての運営力をつけるべく努力していくことが肝要である。</p> <p>日本サッカー協会の「2005年宣言」に倣い、「NIFAマスタープラン2007」を策定し、この目標を達成、実現させるための行動計画として「NIFAアクションプラン」を定め、2007年以降、2009年、2012年、改定後2015年は2015年の中期目標を2030年に向けた目標に変え、2050年の長期目標の1部改定のもと、「アクションプラ2018」の策定し、今回、4度目の改定として各委員会・連盟・地区協会の協力のもと、「アクションプラン2022」の作成をしている。</p> <p>2030年の中期目標、2050の長期目標の実現のため、ビジョン委員会として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) サッカーファミリーの拡大 <ol style="list-style-type: none"> ①未登録チーム、選手の協会登録について 2) 県・地区協会連携にともなう、組織の構築等を検討していく必要がある。 3) 大規模施設の増設と芝・人工芝グラウンドの増設 	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	地区協会 ビジョン委員会 連盟
<ol style="list-style-type: none"> (1) 新潟県内のサッカーファミリーが12万人となる。 (2) 各地区協会事務局を設置し市町村協会と協力し事業を展開する。 (3) 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致し、毎年開催誘致し、毎年実施する。 (4) 新潟県内の各地区に1万5000人収容のサッカースタジアムとFリーグ開催できるアリーナがある。 	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	地区協会 ビジョン委員会 連盟
<ol style="list-style-type: none"> (1) 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる (2) 県・地区・市町村協会が独自の予算のもと連携し活動する。 (3) 日本でFIFAワールドカップが開催された際には、サッカー専用スタジアムとフットサルアリーナで試合をする。 	

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	<ul style="list-style-type: none"> サッカーファミリー数 10万人 サッカーファミリーの増加 未登録チーム・選手数の増加 	<p>新潟県内のサッカーファミリー数 8万人</p> <ul style="list-style-type: none"> 1種未登録 チーム数 選手数 2012年度 73 1,582人 2015年度 68 1,622人 2018年度 62 1,562人 全種別登録 チーム 2012年度 504 15,516人 2015年度 504 14,797人 2018年度 485 13,670人 	80%	<p>県内の未登録選手の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 1種・2種・3種チームが減少し、チーム数は年々減少。今後1種・2種の登録減少に歯止めと、女子・シニアの登録増加が課題。 	<p>地区協会の協力のもと市町村協会調査し、未登録選手数を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 1種は社会人連盟とビジョン委員会が共同で、未登録チームの登録推進のため、2009年より3年間、未登録チームだけの大会を県サッカー協会が主催して、グランセナ新潟で開催したが、その参加チームから登録したチームもあったが、減少しているのが現状。今後、地区協会中心に市町村協会との連携で、未登録のチーム大会を開催し、協会への登録を推進していく。
2 組織	<ul style="list-style-type: none"> 地区/市町村協会支援 県協会より 地区/市町村FAへ支援 3,000,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 地区協会の予算 JFA地区・支部/市町村FA 支援事業より 1,340,000円 NiFA 2007宣言予算より 1,000,000円 	75%	<ul style="list-style-type: none"> 地区協会の組織をしっかりとするため、地区協会の規程を策定する。 地区連絡協議会を活用し、県協会との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況により、地区協会の配分金を上げるなど、より活動を活発にできるようにする。
財務	<ul style="list-style-type: none"> ホームページリニューアルに伴い、スポンサー獲得と個人賛助会員を募集 	<ul style="list-style-type: none"> スポンサーとしてブーマ社、DEPOの2社 個人賛助会員は募集なし 	10%	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルに伴い、アクセス数を増加事務局に財務スポンサー担当の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルでアクセス数を増加し、スポンサーと個人賛助会員を募集し易くする。
3 施設	<ul style="list-style-type: none"> 中越地区・上越地区に15,000人規模のスタジアム建設される 	<ul style="list-style-type: none"> Jリーグ・Lリーグ・JFL開催スタジアム 新潟地区 2会場 上越地区 2会場 中越地区 2会場 下越地区 2会場 	0%	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用、集客できるチームの出現 	<ul style="list-style-type: none"> 行政への働きかけを行う。
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2018→2022					全体	頁中の	頁
5. 具体的アクション					ビジョン委員会 連盟 地区協会		
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように		
1 普及	ビジョン 委員会 地区協会	2022年まで	市町村協会宛に	未登録チーム・選手数を	調査する		
	地区協会 ビジョン 委員会	2022年まで	各地区協会	未登録チームの大会を	開催する		
2 組織	県協会役員 ビジョン 委員会 事務局	2022年まで	県協会	県協会・地区協会合同 会議	県・地区協会の役員が集 まった中、様々な種別か ら地区での問題点や県協 会への要望を集約し年々 改善していく。		
財務	広報委員会 財務委員会 ビジョン委員会 事務局	2019年度	県協会	ホームページリニューア ルに伴い、スポンサー獲 得と個人賛助会員を募集	ホームページに掲載と 担当者が企業を回りスポ ンサーを獲得し、県協会 の財源を確保する		
3 施設	県協会 ビジョン 委員会	2022年まで	中越・上越地区に	スタジアム建設の要望を	行政機関へ提出する		
↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です							